

令和2年度当初予算の概要

岐阜県 池田町



池田町マスコットキャラクター
ちゃちゃまる

1. 当初予算規模

当初予算額(案)

	令和2年度	令和元年度
一般会計	89億54百万円	86億30百万円 (対前年 3.8%増)
特別会計	45億16百万円	44億72百万円 (対前年 1.0%増)
計	134億70百万円	131億 2百万円 (対前年 2.8%増)

* 令和2年度当初予算の概要(計数編)11 ページ参照

一般会計当初予算額は、89億5,400万円で、前年度と比べて3億2,400万円(3.8%)の増額となります。

また、特別会計(上水道除く)を含む全会計当初予算総額は、134億7,000万円で前年度比3億6,800万円(2.8%)の増額となります。

増額となった要因としては、デジタル同報無線戸別受信機(防災ラジオ)整備や池田中学校旧食堂・給食センター解体事業などによるものです。

歳入については、町税では税率改正(9.7%→6.0%)により法人町民税の減少が見込まれるものの、給与所得の伸びなどによる個人町民税の増加や、家屋の新増築の増加などによる固定資産税の増加が見込まれ、町税全体としては2,574万円の増額となっています。また、消費税率の引き上げにより、地方消費税交付金で9,000万円、幼児教育無償化により地方交付税で2,800万円、デジタル同報無線戸別受信機整備により町債で3億1,380万円増額となります。一方、繰入金ではふるさと支援まちづくり基金繰入金で1億7,000万円の減額となっています。なお、寄附金のふるさと納税については、前年度と同額の4億円を見込んでおります。

歳出については、デジタル同報無線整備工事などにより工事請負費は1億9,116万円の増額、防災ラジオの購入により備品購入費は1億9,071万円の増額、幼児教育無償化補助金などの増加により負担金補助及び交付金は1,982万円の増額となっています。

その一方で、児童手当の減少により、扶助費は2,715万円の減額、ふるさと納税関連業務委託料や都市計画基礎調査業務委託料などの減少により委託料は5,397万円の減額、職員数の減少(190人→184人)により人件費は1,673万円の減額となっています。

2. 令和2年度の施策方針

近年、本町において人口減少が深刻化しており、それに付随する町の機能低下が懸念されています。また、人口の減少は、町の活力を失うことにも繋がりがねません。そのため、今後は人口が減少しても、まちの機能を維持し、活力を損なわない、持続可能な地域社会を構築することが求められます。

そこで、令和2年度においては、町の将来像「ぬくもりあふれるまち 池田町 ～ふれあいが未来を育む、人と人がつながり合い成長する都市へ～」の実現を目指す第六次総合計画のスタートとなる年として、厳しい財政状況の中、防災減災対策事業や公共施設の老朽化対策・適正配置など、町の活性化に資する事業を積極的に展開していく方針です。

また、令和2年4月から受益者負担の適正化や、消費税率引き上げなどによる物価変動に鑑み、公共施設の使用料・手数料を改定します。今後もさらなるサービスの向上と運営コストの削減に努めます。

こうした中、令和2年度の当初予算では、まず防災減災対策事業として、防災情報伝達のためのデジタル同報無線戸別受信機を全世帯に無償貸与するほか、防災士育成のための補助金を交付するなど、地域の防災力向上に取り組んでいきます。

人口減少対策としては、昨年度に引き続き移住定住に重点を置き、空家取得者を対象に、改修費用の一部助成を行い、固定資産税についても5年間免除いたします。また、今年度は移住希望者を対象に個別に町内を案内し、移住の促進を図ります。

子育て支援施策については、平成30年度に開設した子育て就労応援センターで家事や育児をしながら再就職をと考えている方を対象に、町内企業と連携したキャリアカウンセリングや各種講座などを企画し、出産後も安心して暮らすことができるまちづくりを目指します。

観光振興については、大津谷公園の環境整備や霞間ヶ溪のもみじのライトアップなど、観光施設を整備するほか、温泉ガストロノミーウォーキングを実施し、ふれあい街道を中心とした体験交流を進め、池田山の魅力を生かした観光プロモーションビデオ映像制作に取り組むなど、観光情報の発信に努めます。また、池田温泉においては、令和2年10月から入浴料金を改定しますが、更なる施設設備の充実や接客サービスの向上に努め、年間入浴者数49万人の達成を目標に、利用者に喜んでいただけるような季節のイベント等を実施して、利用者増を図っていきます。

教育関係については、老朽化に伴い廃止した池田中学校旧食堂・給食センターの解体や、池田中学校内トイレの改修、池田小学校屋外トイレの改修、小学6年生および中学3年生を対象とした学校給食費の無償化を実施します。中高生海外派遣事業や外国語活動支援講師等の派遣は昨年度に引き続き継続して行い、英語教育の充実に努め、また今年度は新たに小学5,6年生を対象にプログラミング教育を行い、論理的思考や創造性、問題解決力の育成を図ります。

3. 主な歳入歳出

歳入

名称	令和2年度	令和元年度	比較
町税	29億 2,238万円	28億 9,664万円	2,574万円
うち町県民税	12億 5,482万円	12億 4,697万円	785万円
うち固定資産税	14億 9,681万円	14億 8,122万円	1,559万円
地方消費税交付金	5億 200万円	4億 1,200万円	9,000万円
地方交付税	17億 600万円	16億 7,800万円	2,800万円
国庫支出金	7億 548万円	6億 7,622万円	2,926万円
うち負担金	6億 4,430万円	6億 902万円	3,528万円
うち補助金	5,574万円	6,239万円	△665万円
寄附金	4億 604万円	4億 575万円	△29万円
うちふるさと支援まちづくり寄附金	4億 円	4億 円	0円
繰入金	4億 2,000万円	5億 2,000万円	△1億 円
うちふるさと支援まちづくり基金繰入金	1億 8,000万円	3億 5,000万円	△1億 7,000万円
諸収入	2億 7,672万円	2億 7,643万円	29万円
町債	8億 4,980万円	5億 3,600万円	3億 1,380万円
合計	89億 5,400万円	86億 3,000万円	3億 2,400万円

歳出

名称	令和2年度	令和元年度	比較
人件費(職員のみ)	11億 4,964万円	11億 6,637万円	△1,673万円
扶助費	10億 3,922万円	10億 6,637万円	△2,715万円
負担金補助及び交付金	23億 6,953万円	23億 4,971万円	1,982万円
うち負担金	19億 2,834万円	19億 3,641万円	△807万円
うち補助金	3億 6,671万円	3億 3,936万円	2,735万円
委託料	9億 2,769万円	9億 8,166万円	△5,397円
工事請負費	6億 28万円	4億 912万円	1億 9,116万円
備品購入費	2億 3,013万円	3,942万円	1億 9,071万円
公債費	7億 5,114万円	7億 5,600万円	△486万円
積立金	1億 9,672万円	1億 6,050万円	3,622万円
繰出金	7億 8,696万円	7億 5,522万円	3,714万円
合計	89億 5,400万円	86億 3,000万円	3億 2,400万円

4. 主要事業

☆…新規 ◎…拡充 ○…継続

(1) 活力あるまちづくり 【729,774 千円】

☆デジタル同報無線戸別受信機(防災ラジオ)整備事業 【305,649 千円】

防災情報を住民に伝達するため、戸別受信機(防災ラジオ)を整備し、全世帯へ無償貸与します。

◎防災士育成事業 【230 千円】

減災および地域における防災力向上のために活動し、町の防災事業に貢献する防災士を育成するため、防災士の資格取得に対して補助金を交付します。

☆小児がん患者ワクチン再接種費用助成事業【283 千円】

小児がん患者が骨髄移植手術その他の理由により、接種済の予防接種法に規定する予防接種の効果が期待できないと医師に判断され、任意で再度接種を受ける者に対し、その費用を助成する制度を創設し、経済的負担を軽減するとともに疾病の発生及び感染症のまん延の防止を図っていきます。

☆がん患者医療用ウィッグ購入費助成事業【50 千円】

がん患者の医療用ウィッグ及び装着に必要な頭皮保護用ネット購入費に対する助成制度を創設し、治療と就労、社会参加等との両立を支援し、療養生活の質の向上を図っていきます。

☆単身の高齢者、障害者世帯に対するごみ出し支援事業【202 千円】

自ら家庭ごみをごみステーションに出すことが困難な、単身の要介護者や障害者などに対して戸別訪問し、無償でごみ出しを支援します。

○すくすく赤ちゃん券助成事業 【3,510 千円】

子育て支援施策として、出生届時におむつ・ミルク等の購入代として「すくすく赤ちゃん券」を第1子目には2万円分、第2子目には3万円分、第3子目以降は、4万円分と、「おむつ用 ゴミ袋 30 枚」を交付し、子育て支援事業を行います。

○子育て就労応援事業【1,514 千円】

平成 30 年に開設した子育て就労応援センターで、大垣ハローワークと連携し、ハローワーク出張相談を行います。

また、育児や家事をしながら再就職を考えている母を応援するため、町内企業と連携し、講座やキャリアカウンセリングなどを企画し、出産後も安心して暮らすことができるまちづくりを目指します。

☆危険空家等除却費補助事業【600千円】

建物の基礎や外壁、屋根等が破損し、倒壊等の危険がある住宅及び倉庫等のうち、危険空家と認定された建物の除却に要した費用の一部について、1件あたり30万円を上限に助成します。

○ブロック塀等撤去費補助金交付事業【700千円】

地震など災害によるブロック塀等の倒壊事故被害を防止し、安全なまちづくりを推進するため、道路に面したブロック塀等の撤去を行う場合に、1件当たり10万円を上限に補助金を交付し、ブロック塀等の撤去費用の一部を助成します。

○移住定住促進事業【2,448千円】

町内への移住を推進するため、移住希望者を対象に町内を個別案内し、移住促進を図ります。

また、子育て世代の移住・定住を増やし、併せて町内にある空家の活用を図るため、空家を取得し、改修を行う費用の一部を助成するほか、固定資産税の免除を行うとともに東京圏からの移住・就業を後押しするため、地方創生推進交付金を活用した移住支援金の給付を行います。

○まちづくり工房事業【3,274千円】

まちづくり拠点「まちづくり工房 霞溪舎」を中心とした町民参加のまちづくりを推進し、その施設を引き続き指定管理により運営を行います。

○町の人財を活かした地域コミュニティの活性化事業【684千円】

池田町内のいろいろな技術、能力を持った達人を発掘し、その方々から学び、体験するプログラム・講座を開催することで学校・職場・自治会以外の人とつながる機会をつくり、多世代間交流が行えるようにします。

○ふるさと納税推進事業【400,000千円】

池田町を応援していただくための啓発等を行い、特産品等の返礼を準備し、併せて町のPRを行って、ふるさと納税推進を図ります。

○工場等設置奨励事業【3,048千円】

産業の振興と雇用の拡大を図るため、企業の立地促進を目的に奨励措置を設けます。

○ねんりんピック岐阜2020開催事業【6,733千円】

高齢者を中心とする国民の健康増進や生きがいづくり、活力ある長寿社会を目指す祭典として第33回全国健康福祉祭ぎふ大会(ねんりんピック岐阜2020)が岐阜県全域で開催され、池田町ではスポーツウエルネス吹矢交流大会が開催されます。

☆図書館システム更新(読書手帳)事業【363千円】

令和3年3月より図書館システムの更新時に読書手帳システムを取り入れることにより、近年スマホやタブレットの普及で読書離れが進んでいる子供達等に本を読むことの良さを知るきっかけ作りを行い、図書館利用の増加や地域の活性化を図ります。

◎図書館くつろぎ環境整備事業【486千円】

館内の閲覧、学習スペースを増設し、町民の図書館利用を図り、読書普及に繋がります。

(2)観光関連事業【16,049千円】

☆大津谷公園環境整備事業【9,637千円】

大津谷公園利用者の増加に伴い、駐車場等を整備し利用者の利便性を図ります。

☆温泉ガストロノミー推進事業【1,700千円】

池田町の自然や歴史を感じながら「めぐって」、池田町の美味しいもの・お酒を「食べて(飲んで)」、そしてウォーキングの後には全国的にも珍しい純重曹のつるつる温泉に「つかって」を体験できる、満足度90%以上の滞在型・体験型イベントです。この ONSEN ガストロノミーイベントをきっかけに、地域観光資源の活性化のみならず、地域の交流と、新たな観光資源の発掘を行います。

☆観光 PR 動画作成事業【1,100千円】

池田町の四季や自然、観光地、文化財などの魅力を最大限に伝えられるような観光 PR 動画を今年度から2ヶ年(総事業費:3,850千円)かけて作成し、地域の活性化や観光客の増進、移住者の促進に繋がります。

☆霞間ヶ溪ライトアップ工事【938千円】

霞間ヶ溪公園登山道入口にライトを設置し、桜や紅葉のライトアップをすることで夜間の観光地として定着させ、観光客の増加を目指します。

○ふれあい街道周辺活性化事業【792千円】

平成27年度から整備を行ってきた霞間ヶ溪公園花畑を中心に、花畑及び池田山のライトアップや星空体験、池田山の植物の講習会など池田山麓にある観光資源を有効に活用した体験イベント等を行います。

そして、池田の魅力を多くの方に発信し、地域産業の活性化や地域間交流に繋がります。

○池田・揖斐川レンタサイクル推進協議会負担金【899千円】

養老線の利用促進と広域観光推進のため、レンタサイクル事業を引き続き行います。

また、好評である「マチュピチュクーポン」に必要なオリジナルタンブラーの購入やその PR 事業分を支援します。

○町マスコットキャラクター「ちゃちゃまる」事業 【788 千円】

池田町の活性化とPR活動の充実のため、誰からも親しまれ愛されるマスコットキャラクターになるよう努め、HPや各種イベントなどに活用します。

○池田まるっと体験交流ツアー創出プロジェクト 【195 千円】

収穫体験やお菓子作り、美濃いび茶の飲み比べといった、池田町内に点在する体験型観光資源を活用した体験交流ツアーを一年を通じて開催し、町内外からの観光客を誘致することで、観光消費額増加を目指します。

(3)教育関連事業 【298,510 千円】

☆池田中学校旧食堂・給食センター解体事業 【83,523 千円】

池田中学校旧食堂及び給食センターを解体し、今後整備を進めていきます。

☆池田中学校内トイレ改修事業 【11,750 千円】

老朽化した、北舎職員トイレの改修、体育館トイレの洋式化を行います。

☆池田小学校屋外トイレ改修事業 【10,000 千円】

和式トイレを洋式化し、利用者の利便性を図ります。

☆プログラミング教育【1,650 千円】

小学校5、6年生を対象に、プログラミング教育を行い、プログラミング的思考の育成を図ります。

◎小学6年生、中学3年生に対する学校給食費の無償化【26,428 千円】

学校給食費の無償化を今年度は中学3年生も対象とし、来年度の進学に備え、保護者の負担を軽減します。

○小学校入学お祝い金及び中学生夢交付金事業【4,490 千円】

新入学児童に入学お祝い金交付支援事業として、1万円支給します。またキャリア教育の一環として中学3年生に、夢交付金事業として図書券1万円分を支給し、子育てを支援します。

○池田町大野町学校給食センター協議会運営費 【95,605 千円】

池田町大野町学校給食センター協議会へ負担金を支出し、池田町及び大野町内で給食事業を行います。

○特別支援教育支援事業 【30,851 千円】

学習や学校生活において特別な支援を必要とする児童生徒が在籍する学級に対して、指導助手として、特別支援学級に支援員、通常学級にアシスタントを町独自で配置し、誰もが安心して学べる環境を整えます。

支援員 配置校:温知小2人、八幡小2人、池田小2人、池田中2人

アシスタント 配置校:温知小5人、八幡小4人、宮地小3人、池田小3人

○外国語活動推進事業 【18,315 千円】

ALT (Assistant Language Teacher) のほか、町独自に講師を4人配置し、小中学校における英語授業の充実を図ります。

また、2泊3日でオールイングリッシュの合宿を行い英語教育の充実を図ります。

○海外派遣事業 【2,900 千円】

中高連携した外国語活動の一環として中学生10人、高校生5人をニュージーランドへ派遣し、ホームステイや福祉施設訪問を行い、グローバルな人材を育てます。

○少人数学級指導支援事業 【9,156 千円】

一定数以上(30人以上)の学級を対象に、町単独で講師を配置し、学習集団を1学級増やして、よりきめ細やかな少人数指導を行います。

対象校:温知小4人、八幡小4人

○池田町版体験キャリア教育の深化プロジェクト 【3,842 千円】

キャリア教育コーディネーター2名が、池田町の教育について現場教師とともに新たな職場体験のあり方やキャリア教育プログラムについて考え、子ども達が地元でいきいきと働く大人に触れる仕組みを作り、地元を知る喜びや町への愛着を育むことを目指します。

また未来の池田町を担う中学生と池田高校生に対して英検や漢検等の資格取得に対して助成を行うことで、社会で活躍する土台形成を図ります。

(4)生活基盤関連事業 【626,966 千円】

○移動手段確保対策事業【1,296 千円】

65才以上の方を対象に養老線マイレールチケット21(回数券)を販売定価の1割助成します。

なお、妊娠中の方にはマイレールチケット21(回数券)を1回無料配布し、また自動車運転免許返納者へは、2年間で4回まで無料配付します。

○養老線管理機構関連事業【108,894 千円】

一般社団法人養老線管理機構への負担金(84,960 千円)、補助金(21,470 千円)、および養老鉄道活性化協議会負担金等(2,464 千円)を支払います。

○コミュニティバスの継続運行【21,345 千円】

コミュニティバスの継続運行を行い、町内の安全な移動手段を基本とし利用者の増加と利便性の向上を図るため、マイクロバス2台、ワゴン車1台で4路線、31便／日を運行。バス停等の見直しを行い、利便性の向上を図ります。

(令和元年度利用者数は、13,973 人)(12月末日現在)

また今年度は、今後導入予定であるデマンドタクシーについて検討を行います。

○福祉医療扶助事業 【245,769 千円】

子どもの医療費を無料化にすることで、子どもを持つ世帯は平等に医者にかかることができ、子どもの病気の重篤化を防ぐことができます。

	対象(人)	予算額(千円)
乳幼児扶助	1,020	38,863
児童・生徒扶助	2,064	63,229
高校生等扶助	726	22,215

○病児・病後児保育事業 【5,026 千円】

子どもが病気にも関わらず、仕事や冠婚葬祭等により家庭で看護ができない保護者に代わり、一時的に「病児・病後児保育施設 ひまわり」において児童を預かります。(登録者 564人)

なお、3人以上子どもがいる世帯の利用は無料としています。 対象人員120人

○放課後児童クラブ事業 【34,770 千円】

仕事などの事情により、昼間保護者が家庭にいない小学生の児童に対し、放課後や夏休み等の長期休暇中、保護者に代わり、適切な遊びや生活の場を小学校毎に開設します。(利用予定者数:224 人、対象児童は小学校 6 年生まで)

○緊急通報装置設置事業 【1,024 千円】

75歳以上の独居高齢者等の急務、事故等の緊急事態に対応するため緊急通報装置を設置します。

☆町有施設整備事業 【9,203 千円】

旧池田町有線放送事務所を解体し、今後、跡地の整備を進めていきます。

☆地区公民館受電設備更新事業 【13,739 千円】

経年劣化した八幡公民館受電設備を更新し、施設の長寿命化を図ります。

☆社会基盤施設管理事業【61,000 千円】

公共施設等適正管理推進事業

対象となる道路の長寿命化を推進します。

池野市街地線	青柳・池野地内	30,500 千円
池野入方線	六之井地内	21,500 千円
橋梁修繕	4橋	9,000 千円

○社会資本整備総合交付金事業 地域基盤整備工事 【16,000 千円】

橋梁修繕	4橋	16,000 千円
------	----	-----------

○道路改良工事 【83,500 千円】

萩原 36 号線	萩原地内	10,000 千円
下東野 2 号線	下東野地内	19,000 千円
小寺 29 号線	小寺地内	8,000 千円
その他 5 線		46,500 千円

☆農作物野生獣被害防止対策事業 【1,000 千円】

山林のふもと付近に住みついたシカやイノシシなどが、農作物に被害を与え農家の経営に影響を及ぼしていることから、除草などによって野生獣の「すみか」を解消し、農作物被害の抑制を図ります。

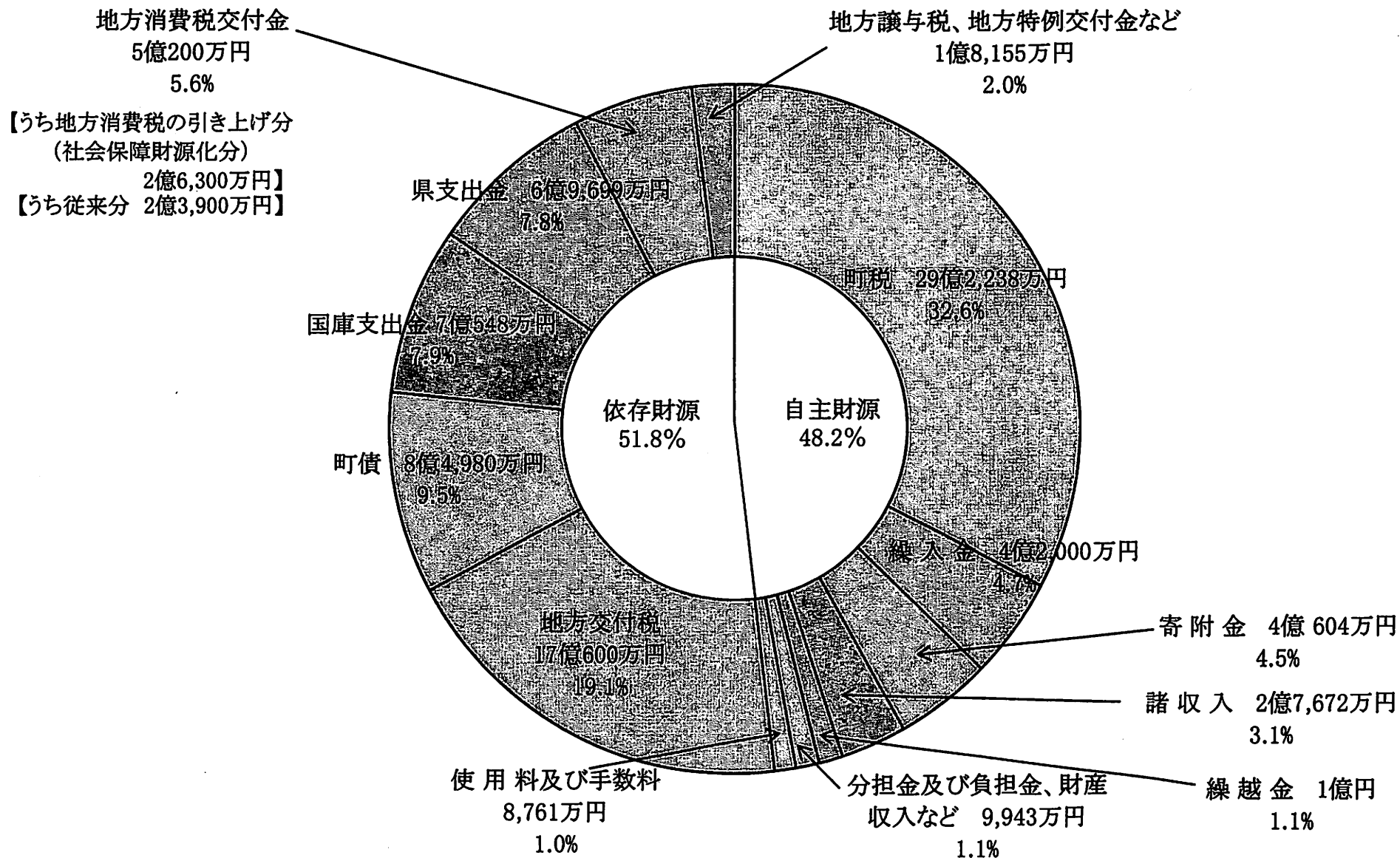
○里山林整備事業 【10,000 千円】

野生鳥獣による被害の軽減など、地域住民の生活環境の保全や生物多様性の保全を図るため、霞間ヶ溪登山道既存施設の改修、ふれあい街道沿いの倒木の危険性の高い高木の伐採、鳥獣被害対策を行います。

○池田町浄化センター自家発電設備事業(公共下水道事業特別会計)【14,400 千円】

長期の停電事故の経験を踏まえ発電設備の整備を令和元年度より2ヵ年の計画で整備を進めます。(2ヵ年事業の最終年)

令和2年度一般会計歳入構成表(予算総額89億5,400万円)



令和2年度一般会計歳出款別構成表(予算総額89億5,400万円)

